

9 資金・財政計画

本博覧会の準備及び運営に要する資金の総額は、「会場建設費」1350 億円、「運営費」550 億円である。

「会場建設費」の支出は前述の会場計画に基づき、博覧会協会の責任で整備する費用である。

その内容は、管理区域（約 173ha）の土木工事、公式参加者の展示施設の建設工事、修景を演出する工事費や協会主催事業の基礎整備費、電気・ガス・水道等の供給処理施設や情報通信施設の整備、場外駐車場等の交通アクセスの整備に要する費用とそれらの調査設計費用等を加えたものである。

なお、日本政府館や一般参加者（民間企業等や自治体）による建設工事は、日本政府や一般参加者自身の負担としており、会場建設費 1350 億円には含まれていない。

会場建設費については、建設費総額に占める補助対象事業の割合を 3 分の 2 程度とし、残余の部分は民間資金等により対応するものとする。補助対象事業の部分については、国と関係地方公共団体が同率の割合で負担するものとする。

■会場建設費 収入（単位：億円）

項 目	金 額
1．国庫補助金収入	450
2．地方自治体補助金収入	450
3．民間等収入	450
（1）民間等寄付	
（2）公営競技等	
合 計	1,350

■会場建設費 支出（単位：億円）

項 目	金 額
1．土木工事費	110
2．建築工事費	440
3．供給処理施設等整備費	270
4．輸送関係施設整備費	270
5．調査設計・負担金等	260
合 計	1,350

「運営費」の支出は、博覧会の運営に関する事業運営、会場管理、広報宣伝、一般管理等の費用である。

その内容は、出展参加を要請するための経費、協会が行う企画事業・催事に必要な経費や広報宣伝費など博覧会を盛り上げる費用、会場内の警備・消防・医療等に係る経費や場内清掃費など会場施設の維持管理に必要な経費、協会職員の人件費や一般管理費などの管理関係諸費、駐車場運営に必要な経費や支払い利息などのその他経費である。

運営費の財源は主に入場料収入で、その他には会場内での営業権利金収入、シンボルマーク等の使用料等である。今後、新たな収入源を開発していくことが必要である。

■運営費 収入（単位：億円）

項 目		金 額
1．入場料収入		390
2．その他		160
(1) 博覧会事業収入	出展料収入 営業権利金収入 供給処理施設収入 催事収入	
(2) 付帯事業収入	マーク等使用料収入 記念メダル・協賛広告等収入 その他	
(3) その他収入	寄附金 補助金 その他	
合 計		550

■運営費 支出（単位：億円）

項 目	金 額
1．事業運営費	130
2．会場管理費	170
3．入場券販売促進費	70
4．広報宣伝費	
5．管理関係諸費	120
6．その他の経費	60
（ 1 ）雑支出	
（ 2 ）特別会計繰出金	
合 計	550